

# 平成29年度 事業報告書

一般社団法人 カーテンウォール・防火開口部協会

自 平成29年4月1日

至 平成30年3月31日

平成29年度事業については、会員はじめ関係各位のご理解とご協力により、カーテンウォール及び防火戸の健全な普及等を図るための諸事業が実施されました。その事業別の概要は次のとおりです。

## 1. カーテンウォール関係事業

(1) 出版物「カーテンウォール性能基準 2013」の耐風圧性能グレードの標記変更と解説文を追記し、追補版(1)を発行致しました。

(2) メタルカーテンウォール受注実績の調査

平成28年度の当協会会員によるカーテンウォール受注実績は、6社で件数2,002件(対前年度比105%)、面積904千㎡(同117%)となりました。

(3) 各団体への協力(委員派遣等)

次の活動に対し、参画協力等を行いました。

- ① プレコンシステム協会からの依頼を受けCW工場見学とCW技術研修会へ講師を派遣致しました。
- ② 日本建築学会へシール材性能設計小委員会の委員を派遣致しました。

## 2. 防火戸(防火設備)関係事業

(1) 防火戸認定についての対応

国土交通省による公表等に対応するため、協会による大臣認定品(いわゆる通則品)から個社による大臣認定品への置き換えについての支援的活動を行なっています。住宅用については、既に平成25年12月をもって、いわゆる通則品の取扱いを終息しています(メンテナンス用を除く)。

又、平成29年度基整促F12「防火設備(窓)に関する構造方法の告示化の検討」の委員会及び検討部会に参画をしております。

(2) ビル用防火戸

① 企画広報関係

イ) 証明証紙の発行

	平成29年度実績	(平成28年度績)
・一般証紙(KD・フロント含む)	: 1,088,200枚	(1,074,700枚)
・その他証紙(他のEB・CAS)	: 1,100枚	(1,200枚)
・ビル用証紙計	: 1,089,300枚	(1,075,900枚)

ロ) KD・フロント取扱い事業者

・講習会

平成30年2月に、東京及び大阪で開催し、131名（うち2科目受験者38名）が受講・受験し、KDは88名、フロントは43名が合格しました。

・登録(平成30年2月末現在)：2,681事業者（平成29年2月末：2,691事業者）

② 品質管理関係

・工場立入検査

平成29年6月アルミ8工場（北海道・福岡・宮崎・鹿児島）

平成29年10月アルミ9工場（新潟・富山・長野・京都・大阪・熊本）

平成29年12月スチール2工場（北海道・福岡）

平成30年3月アルミ8工場（岩手・秋田・京都・奈良・兵庫・鳥取・島根）

アルミ25工場及びスチール2工場、合計27工場について協会担当委員による立入検査を実施しました。

③ 技術関係

・連窓方立の遮炎性試験を行いました。

・耐熱板ガラス定期品質確認試験

2体（2社）の耐熱板ガラス定期品質確認試験を行いました。

④ 審査関係

・凍結方針のため、商品の防火性能に係らない申請について審査を行いました。

(3) 住宅用防火戸

① 企画広報関係

イ) 住宅用防火戸取扱い事業所

・定期講習会

平成30年2月に東京・大阪の2会場で開催し、45事業所（55名）が受講修了しました。

・登録更新

平成30年3月末現在登録事業所数：6,071事業所（前年度：6,023事業所）

ロ) 住宅防火戸取扱い事業所審査・調査

・住宅防火戸取扱い事業所状況調査

全国の登録事業所のうち、昨年8月～9月に1,000事業所を対象に状況調査を行い、682事業所から回答があり回収率は68.2%でした。

ハ) 情報・連絡等

・会報「窓快」の発行

平成29年6月に住宅サッシ・防火戸会報「窓快」9号（部数9,000部）を発行しました。

・メルマガの発信

毎月1回、住宅サッシ・防火戸取扱い事業所向けに、協会案内、お役立ち情報、統計情報等についてのメルマガジンを発行しました。

② 技術品質関係

・ガラス等に関連する共通技術課題に関する検討を行いました。

・申請の審査

凍結方針のため、商品の防火性能に係らない申請について審査を行いました。

- (4) 防火性能・専門合同委員会（委員長 菅原進一 東京理科大学名誉教授）  
平成 29 年 5 月、12 月に同委員会を開催し、本協会の関係部会による審査結果及び関連活動等について確認しました。

(5) 生産実績の調査

平成 28 年度の当協会会員による防火戸生産実績は、次のとおりです。

（単位：窓、（ ）内平成 27 年度）（\*調査集計の都合から 1 年度前のものです。）

① 防火設備

・ EB-9101～9108（旧 2 号）	：	1,258,204	（1,276,707）
（アルミニウム合金製はめ殺し窓～アルミニウム合金製引き自動ドア）			
・ EB-9111～9119（旧 4 号）	：	0	（0）
（アルミニウム合金製はめ殺し窓～アルミニウム合金製巻上げ窓シャッター）			
・ EB-9121～9124（旧 5 号）	：	0	（0）
（木質系はめ殺し窓～木質系開き窓）			
・ EB-9131～9133（旧 6 号）	：	579	（463）
（耐熱板ガラス入り鋼製はめ殺し窓～耐熱板ガラス入り鋼製引き自動ドア）			
・ EB-9141（旧 7 号）	：	15	（187）
（木質系開き戸）			
・ EB-0275	：	115	（3）
（アルミニウム合金製折りたたみ戸）			
<b>防火設備合計</b>	：	<b>1,258,913</b>	<b>（1,277,360）</b>

② 複合防火設備

・ CAS-0259（CAS-0004）	：	251	（284）
（木質系開き戸／準耐火構造壁・床付き）			
・ CAS-0260（CAS-0003）	：	62	（98）
（耐熱板ガラス入り鋼製開き戸／準耐火構造壁・床付き）			
・ CAS-0261（CAS-0141）	：	93	（71）
（耐熱板ガラス入り鋼製引き自動ドア／準耐火構造壁・準耐火構造床付き）			
<b>複合防火設備合計</b>	：	<b>406</b>	<b>（453）</b>

以上、防火設備・複合防火設備の平成 28 年度合計生産量は、1,259,319 窓（平成 27 年度 1,277,813 窓）で、対前年度比 98.6%でした。

3. その他の事業活動（\*は（一社）日本サッシ協会と共同）

(1) 開口部耐震補強枠の普及推進

① 展示会への参加

耐震改修工法等の展示会に説明用パネルを下記に出展し、一般建築物所有者への認知向上に努めました。

- ・ 新宿駅西口広場イベントコーナー（平成 29 年 8 月）
- ・ 目黒区役所（平成 29 年 9 月）
- ・ 新宿駅西口広場イベントコーナー（平成 30 年 1 月）

② 実施工事

- ・東京都墨田区（邸宅 掃き出し窓開口部補強 平成 29 年 12 月）
- ・三重県津市（邸宅 腰窓開口部補強 平成 29 年 12 月）

(2) スチール・ドア契約適正化全国研修会の開催\*

平成 29 年 10 月、11 月に全国 11 ヶ所（札幌、仙台、東京、さいたま、金沢、名古屋、大阪、広島、高松、福岡、沖縄）で、契約締結適正化の推進、中小企業の活性化を目的に開催し、506 名が出席しました。

(3) 施工管理者安全推進大会の開催\*

平成 29 年度施工管理者安全推進大会を、東京及び大阪で 6 月に開催しました。

(4) 登録サッシ・カーテンウォール基幹技能者講習の取組\*

国土交通大臣登録制度のもとで、平成 29 年度の「登録サッシ・カーテンウォール基幹技能者講習」の登録講習および試験を鳥取、岐阜、沖縄会場で実施し、新たに 43 名が合格し、累計 975 名が登録基幹技能者になっております。

(5) 積算資格の認定\*

第 17 回サッシ・カーテンウォール積算資格の認定については、平成 29 年 10 月に事前説明会、11 月に認定試験（全国 7 地区で延べ受験者 727 名）を実施、その結果、アルミ 1 級 42 名、同 2 級 128 名、同 3 級 143 名、スチール 1 級 36 名、同 2 級 53 名、同 3 級 108 名が合格し認定書を交付しました。

(6) 技能検定への協力\*

平成 29 年度カーテンウォール施工技能検定（東京都）は、平成 30 年 1 月 14 日に実技試験、1 月 28 日に学科試験が行われ、これに協力しました。

(7) 建設マスターの推薦\*

平成 29 年度に当協会から推薦された 3 名が、平成 29 年 10 月の顕彰式で「優秀施工者国土交通大臣顕彰（建設マスター）」を授与されました。

(8) 社会保険未加入対策の促進\*

平成 25 年 10 月より法定福利費を明示した標準見積書の活用を一斉に開始しました。委員会、部会において会員企業に、標準見積書の活用、社会保険加入促進に向けての重要性を行政の動きと共に伝えています。

平成 29 年 5 月開催の「第 1 回建設業社会保険推進連絡協議会」及び平成 30 年 1 月開催の第 2 回の同協議会に参加し、「社会保険加入対策の徹底」及び「今後の取組の方向性について」の申し合わせを行いました。

(9) 行政・関係団体との連携等

国土交通省をはじめ、（一財）建設業振興基金、（一社）建設産業専門団体連合会、

(一財)日本建築防災協会、防火材料等関係団体協議会、板硝子協会等の関係団体を通じて意見交換、情報収集等の連携が図られました。

- (10) ホームページによる情報提供等  
協会ホームページの掲載内容の更新を行いました。

#### 4. 会議の開催（\*は（一社）日本サッシ協会と共同）

- |  |      |
|--|------|
| ① 総会 1回（平成 29 年 5 月 30 日）臨時総会 1回（平成 29 年 9 月 21 日）                     |      |
| ② 理事会 4回（平成 29 年 5 月・9 月・11 月・平成 30 年 3 月）<br>書面による理事会 1回（平成 29 年 7 月） |      |
| ③ 会務運営委員会*   | 9 回  |
| ④ 委員会・部会   |      |
| ビル防火戸認定委員会   | 3 回  |
| 技術部会   | 11 回 |
| 審査部会   | 12 回 |
| 品質管理部会   | 12 回 |
| 企画広報部会   | 12 回 |
| 耐熱板ガラス部会   | 12 回 |
| 住宅防火戸認定委員会   | 5 回  |
| 企画・広報部会  | 12 回 |
| 技術・品質部会  | 5 回  |
| CW地方部会（大阪）   | 1 回  |
| 防火性能委員会・防火性能専門委員会  | 2 回  |
| CW 技術・材料部会   | 7 回  |
| 施工管理部会*  |      |

#### 5. 会員の状況

##### (1) 入退会等の動き

退会：4社（三種正会員）⇒ ガデリウス・インダストリー(株)、(有)共和木工  
テクノエフアンドシー(株)、(株)デザインアーク

(2) 会員数

平成30年4月1日現在の会員数は、次のとおりです。(( )内は前年度)

一種正会員： 4社 (4社)  
二種正会員： 2社 (2社)  
三種正会員： 31社 (35社)  
賛助会員： 11社 (11社)  
計： 48社 (52社)

附属明細書

(3) 会員及び役員名簿

平成30年4月1日現在の会員及び役員は、別紙のとおりです。

別紙 1：会員名簿  
別紙 2：役員名簿